体験交流で心の高まりを

北海道・標津

北方領土の平和学習と鮭に支えられた暮らしに学ぶ

【知床の自然環境・産業・食・平和学習・歴史文化】 世界自然遺産知床の南に位置する当町は、海・山・川・大平原のあらゆる資源に囲まれ、1万年の間、人々が暮らし続けている痕跡が残る唯一の地域。北は秘境、知床国立公園の山々が連なり、東の海岸から24㌔先に北方領土国後島が望め、内陸にはミルクの里の雄大な牧草地群が広がっております。1万年続く暮らしを体感する歴史文化に基づく地域ストーリーを軸に、地域の人々の暮らしに触れる教育旅行の受け入れを行っております。

原始河川、ポー川でのカヌー体験

【食と産業への理解を深める】 国内初となる食の安全・安心供給システムを水産業における「地域ハサップ」生産活動をプログラム化、学習素材として提供しています。製品検査だけでなく原材料の生産から加工・流通に至るまでの全工程であらゆる危害の発生を分析、その危害が起こらないよう工程中の重要な管理点を監視するシステムを当地ではイクラや新巻鮭作り体験などを通し学びを深めていただいております。また、酪農が盛んな根釧地域では、酪農家民泊の受け入れから、酪農業の仕事を手伝い、その大変さを家族の一員として汗して学び、収穫の喜びを共有する活動を展開しています。

新巻鮭づくりを体験

【平和学習　北方領土を考える】 終戦直後、旧ソ連軍が千島列島を侵攻し、北海道の間近までやってきたこと、北方四島に住んでいた1万7千人の人々が着の身着のままで島を追われた史実についてはあまり知られていないのが国内的な現状です。そして島で暮らしていた元島民の高齢化に伴い、引き揚げ当時の様子などその真実を直接聞くチャンスが年々難しくなってきております。日本にも戦争の影が見え隠れする昨今、今一度戦争を知らない若い世代に、戦争の恐怖や平和の大切さを講話やグループワークを通して考える体験は、日本の領土が間近に見える当地ならではの平和学習プログラムです。

北方領土の講話

【日本遺産「鮭の聖地～根室海峡一万年の物語」～根室海峡一万年の道程～】 文化庁は日本の文化・伝統を語るストーリーとして、2020年6月19日、人と鮭の関わりの歴史を語る4市町（根室市、標津町、別海町、羅臼町）のストーリー「鮭の聖地の物語」を日本遺産審査委員会の承認を得て、日本遺産に認定しました。当町には、約400個を超える古代の竪穴住居跡の無数のくぼみが連なり、日本最大の遺跡群「標津遺跡群　伊茶仁カリカリウス遺跡」が形成されています。遺跡からはあらゆる時代の竪穴から大量の鮭の骨が出土され、この地が毎年鮭を求めて各地から人々が集まる集積地だったことが分かっており、自然との長い共生を今に伝えています。「鮭の聖地の物語」の地域ストーリーを体感するプログラムを通して、より地域への学びを深めます。

地元の食材を使った昼食を提供

【平和学習と農山漁村生活体験「教育民泊」の推進】 当町では、約20年間、自然・産業・歴史・平和を素材としたエコ・ツーリズム事業を展開してきました。今後はより一層、探求学習やSDGsの取り組みが求められます。「鮭の聖地の物語」は1万年の人々の暮らしそのもの。それをひも解き、現地の人と共に暮らして交流を深め、コミュニケーションをすることで、生徒の「人間関係構築能力」を高めることができます。また、「産業・食の生産現場、食育、自然体験・命の教育、生活規範・社会性」について学び、地域の持続可能性や生徒自身の生き方や将来のキャリアについて考えることができます。当町は探求学習や教育民泊の取組を深化させ、「観光SDGs」を推進していきます。

一般社団法人　南知床標津町観光協会
【鮭の聖地　一万年の源流】
〒086-1653　北海道標津郡標津町南3条西1丁目1-6
TEL　0153-85-7226　FAX　0153-85-7227
URL　https://www.visitshibetsu.com/

岩手県・田野畑村

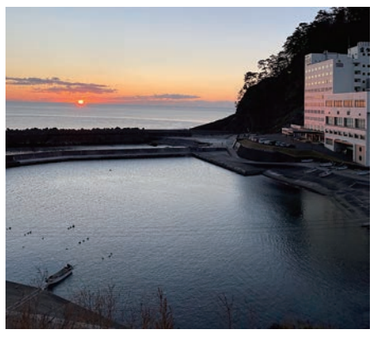
大自然の恵みと大震災の教訓を学ぶ

海と大地のワンダーランド

岩手県沿岸北部に位置する田野畑村は、人口約3千人の農山漁村です。三陸復興国立公園に指定されている海岸線には、高さ200㍍前後の断崖が約8㌔にわたり連なる北山崎や、弓状にえぐられた高さ200㍍前後の断崖が5列に連なる鵜の巣断崖などの景勝地を有しています。北山崎は、平成11年に公益財団法人日本交通公社が行った全国観光資源評価・海岸の部で、世界に誇示できる観光資源として、最高ランクの特A級に格付けされています。

田野畑村の豊かな自然の中に築かれてきた歴史や文化、漁業、農業、酪農、林業、観光と多彩な産業と人々の営み、そして大津波の教訓を胸に復興へ進む姿は、たくましさや生きる力を育むための良き教材です。体験プログラムの指導者は訪れる子供たちとの交流を大切にし、素顔と本音で真剣に向き合います。

壮大なジオ体験「サッパ船アドベンチャーズ」


太平洋を望む「ホテル羅賀荘」

■組織と教育訓練
体験村・たのはたネットワークがコーディネート組織として手配のワンストップ化を図り、田野畑村役場が後方支援をする官民一体の体制を整え、学校や旅行会社の目的や要望に対し迅速、柔軟に対応しています。プログラムの指導者や民泊家庭は定期的な研修を行い、漁船プログラムについては海上保安庁などとの連携訓練を実施し安全確保に努めています。

■民泊（ホームステイ）
約30軒の受け入れ家庭で約100人（人数によりホテル羅賀荘との交互宿泊による受け入れ体制となります）の受け入れが可能です。地域の人々が自然の恵みを共有し助け合ってきた営みを体験し、ふれあいを通じて豊かな心を育みます。

■宿泊ホテル
336人の収容能力を持つホテル羅賀荘は、宿を出るとすぐに体験現場というロケーション。隣接の屋内交流センターはセレモニーや体験プログラム、ワークショップなど多目的な活用が可能で、滞在中に効率的なプログラムを組めます。

■机浜番屋群
番屋とは漁師の作業小屋で、机浜番屋群は平成18年に「未来に残したい漁業漁村の歴史文化財百選」に選ばれています。東日本大震災で流失しましたが、多くの方の支援で以前の面影を復元する形で再建されました。現在は漁師の拠点施設であるとともに、塩づくりや番屋料理などの体験ができる観光拠点にもなっています。

「大津波語り部」から生きる力を学ぶ

【お奨めプログラム】
◆サッパ船アドベンチャーズ　三陸地域の観光振興をけん引する体験プログラム。漁に使う小型漁船（サッパ船）に乗り、現役漁師の操縦で断崖直下や岩礁の間を縫うように航行する迫力満点のツアー。洋上や漁港での体験は、漁業の厳しさや漁師の知恵を伝えます。

体験の拠点「机浜番屋群」

◆大津波語り部　平成23年3月11日に村を襲った大津波は、住家や施設のみならず、多くの尊い命を奪い去りました。被災地だからこそ伝えなければならない、あの日この場所で起こったこと。そして13年の歳月の中で懸命に復旧・復興を続けてきたこと。当時を知るガイドから防災への備え、生きる力を学びます。

◆塩づくり体験　かつて三陸沿岸一帯で行われていた塩づくりを、昔ながらの製法で体験できます。大量の海水から生み出される塩の量はほんのわずか。歴史を学ぶことで、いかに塩が貴重であったかを実感できます。

NPO法人　体験村・たのはたネットワーク
担当　楠田・石井
〒028-8402　岩手県下閉伊郡田野畑村北山129-10
北山崎ビジターセンター内
TEL　0194-37-1211　FAX　0194-33-3355
E-mail taiken-tanohata@car.ocn.ne.jp
URL https://www.tanohata-taiken.jp/

埼玉県・秩父地域

都心から90分、民泊家庭は80軒
東京に「ちかいなか」秩父

埼玉県の秩父地域は、東京都心から約80㌔圏内（バス・電車で2時間以内）でありながら、ユネスコに登録された「秩父祭」に代表される歴史や伝統文化、素晴らしい自然、人情にあふれた地域です。

歴史の教科書の中では、「和同開珎」「秩父事件」などが有名で、地学の面では〝日本地質学発祥の地〟として「日本ジオパーク」にも選ばれています。最近では人気アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」や映画「心が叫びたがっているんだ。」「空の青さを知る人よ」の舞台になったアニメの聖地でもあり、現在全国で一番歌われている卒業ソング「旅立ちの日に」の発祥の地でもあります。

自然を感じ、チームワークを育むラフティング

また、風光明媚で豊かな自然が残り、四季を通じた観光要素も多くある地域で、老若男女問わず、人気が高まっている観光地でもあります。

■教育民泊80軒
民泊では、約80軒の登録家庭が1軒3～4人の少数単位で生徒たちを迎え、そば・うどん打ちをはじめ、地域独特の生活を感じられる田舎料理を一緒に作り、食事や畑仕事など常に一緒に行動します。民泊で生徒たちをお預かりしている間、ほんものの家族同様、家庭の一員として田舎の生活体験や親密なコミュニケーションを図ります。

全員で料理して「いただきます」

■体験プログラム
学校・クラス単位で、首都圏の貴重な水資源となっている荒川を活用した川下りやラフティング、自然の中でのアドベンチャーや渓流釣り、田植え体験、日本百観音霊場である秩父札所34ケ寺で行われる座禅、竹細工、さらには、貴重な地質を生かしたジオパークや新電力を学べるSDGs体験など学校のニーズに合わせた自然、文化を体感できる豊富な体験プログラムも多数ご用意しています。

みんなで田植え体験

■コーディネート組織
「一般社団法人秩父地域おもてなし観光公社」は、行政とも密接に連携しており、秩父医師会と連携した新型コロナウイルス対策や秩父消防本部にも受け入れの際には事前にお知らせし、万が一の緊急時にも、地域ぐるみで対応する準備もしています。その他、学校や家庭が望むニーズにも可能な限り対応いたします。

受け入れ家庭での農作業

バスでは修学旅行で人気の高い国会議事堂から約90分、東京ディズニーランドから約110分。首都高・関越道経由で花園IC下車、国道140号を利用。鉄道ではJR山手線池袋駅から西武鉄道・特急ラビュー号で西武秩父駅まで約80分。都心から一番近くて、一度に約150人まで受け入れ可能なのが秩父地域の民泊です。

東京への修学旅行に〝ちかいなか秩父〟の民泊を取り入れ、人情あふれる田舎の生活体験をしてみませんか。

一般社団法人　秩父地域おもてなし観光公社
〒368-0032　埼玉県秩父市熊木町9-5
秩父ビジネスプラザ
TEL　0494-26-6260　FAX　0494-26-7331
E-mail:info@chichibu-omotenashi.com
URL https://www.chichibu-omotenashi.com/

長野県・南信州

南信州SDGs教育プログラム
民泊と体験交流が生み出す相乗効果

天竜川ラフティングでチームワークができる

なぜ今、南信州か？
○「主体的・対話的で深い学び」、SDGs理解学習、ESD（持続可能な開発）学習のためのファシリテーター（学習支援者）の養成に積極的に取り組んでいます。
○平成8年より全国からの教育旅行の受け入れを開始、28年間の安定した実績。
○全国で初めて農泊（受け入れ先は延べ450軒、簡易宿所）を教育旅行に導入（1998年）。
第1回オーライ！ニッポン大賞最優秀賞、2017クールジャパンアワード受賞（農泊）。
○南信州観光公社は、飯田下伊那など16市町村が出資し広域行政の協力で受け入れ。
○ラフティングなどの200近い体験プログラムが用意されています。

SDGsと新学習指導要領～学校教育に求められるもの～
OECD　PISA（2022学習到達度調査81カ国・地域から69万人が参加、15歳対象）が評価する主要な能力で、日本はOECD加盟国中、数学的リテラシー1位（1位）、科学的リテラシー1位（2位）、読解力2位（11位）と全て世界トップクラス。この結果をOECDはコロナによる休校日数が比較的少なかったこと、新学習指導要領による授業改善効果、学校現場でのICT機器への習熟等を主因として分析しています。

新学習指導要領の求める主要な能力は、OECDが実施するPISAの調査目的とリンクしています。既に始まった大学入試制度の改革も以下の点を意識しています。

世の中は「正解のない問い」に答えを出せる「問題解決能力」や「創造性」を持つ人を求めています。感動体験南信州は、学歴や偏差値でその能力の有無は予測できないものであり、次代を切り拓く青少年には、「認知能力」（IQや学力テストで計測される）ではなく、「非認知能力」がその職業人生においても必要とされると考えます。

ネギの収穫、ほ場から考える農業のSDGs

リンゴ畑から循環型農業の効果を知る

これは真面目さ、開放性、外向性、協調性、精神的安定などから構成され、人間力と言い換えてもよいものです。

地域の伝統芸能を知り、抱える課題について考える（大鹿歌舞伎）

農家民泊の受け入れ
昨年、86軒の農家の協力を得て再開し、3800人の受け入れを行いました。今年は農家数が90軒を超え、1日当たりの最大人数は240名を数えました。また、60歳未満の受け入れ農家の全体に占める割合は40%を超えており、将来にわたって継続的な受け入れが可能となっております。

民泊とセットで行われるラフティングは、6月から南信州リゾート社に切り替えて、7人乗りボートを軸としたチームワーク醸成を意識した対応を行っています。

時代の潮流はSDGsへ。「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた「探求学習」加えて持続可能な地球、日本、地域を創るためのフィールドワークをふんだんに用意しています。皆さまのご来訪をお待ちします。

◆南信州観光公社＝長野県の認定するSDGs推進企業第147号

株式会社　南信州観光公社
〒395-0152　長野県飯田市育良町1-2-1
りんごの里内
TEL　0265-28-1747　FAX　0265-28-1748
URL https://www.mstb.jp/